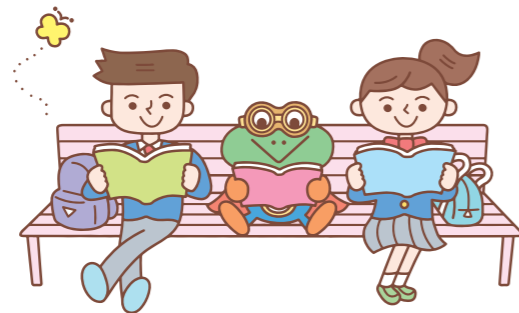


はじめてのサステナブルファイナンス

# 金融の力で 地球のピンチを 救おう！



# 社会的課題と金融のつながりを学び 未来のために自分のお金の使い方を考えよう

地球温暖化によって、世界各地で激甚化した気象災害が増加するなどその脅威はいまや目前にある状況です。

こうした地球のピンチを救い、私たちの未来を守るためには、1人1人が持続可能な社会の実現に向けた行動を考える必要があります。私たちのお金は普段の買い物だけでなく、銀行などの金融機関を通じて、企業や自治体への融資や投資など様々な場面で活用され、世界を巡っています。こうしたお金の流れ(金融の力)を通じて、気候変動や自然破壊、人権問題などの様々な社会的課題の解決を促し、持続可能(サステナブル)な社会をつくる「サステナブルファイナンス」\*という考え方、取組みが世界中で広がっています。こうしたお金の流れや取組みについて正しく理解することは、地球の未来を守るのに役立つだけでなく、あなた自身の夢や理想の生活を実現する助けにもなるはずです。この教材を通じて、未来につながる行動やお金の使い方について一緒に考えていきましょう。

\*サステナブルファイナンスは、「持続可能な社会と地球を実現するための金融」と解釈されており、環境(E)・社会(S)、ガバナンス(G)課題の解決を目指して、様々な配慮を織り込んだ投融资(ESG投資・ESG金融)、債券発行、その他様々な幅広い金融サービスを含む広い概念と考えられています。

監修 足達英一郎/亀井茉莉

## キャラクター紹介



カエルくん

地球のピンチを救うためにやってきたサステナブルファイナンスのヒーロー。自慢のゴーグルをかけると、お金の流れを可視化できる。金融の力で地球の未来を変えるために、銀行や取引先を飛び回っている。



ススム

高校3年生の男子。好奇心旺盛で、気になることがあればとことん調べるタイプ。夢中になると時間を忘れて没頭してしまう。



ミク

高校3年生の女の子。クールで現実的な考え方をするタイプ。おしゃれが大好きで、気になる服を見つけるとつい衝動買いしてしまう一面も。

このまま気温が上昇すると、地球と私たちの未来にこんなピンチが起こると言われているんだ!

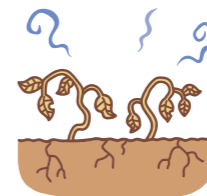


気候変動が進むと何が起きるか、世界中の科学者が研究を進めています。

## 2050年。わたしが 歳のときの地球。



大型台風や集中豪雨による洪水の発生



気候変動による農作物の収穫量減少



気候変動に対応できず、動植物が減少・絶滅

え、僕たちの暮らしにこんな影響が...!?



気候変動による森林火災などの被害が増加



気温上昇により熱中症患者が増加

※IPCC (気候変動に関する政府間パネル)「1.5°C報告書」「土地関係特別報告書」用語①

このような未来にならないようにできることがあります。まずは気候変動の状況について学んでいきましょう。

## 教材のラインナップ

### テキスト教材 (本冊子)



気候変動の問題やサステナブルファイナンスの仕組みについて、基本的な概要を解説したテキスト教材です。

### 動画教材



本テキストで取りあげている内容について、イラストを活用し、よりくわしく解説した動画教材です。

# 気候変動の問題と世界の動きを知ろう

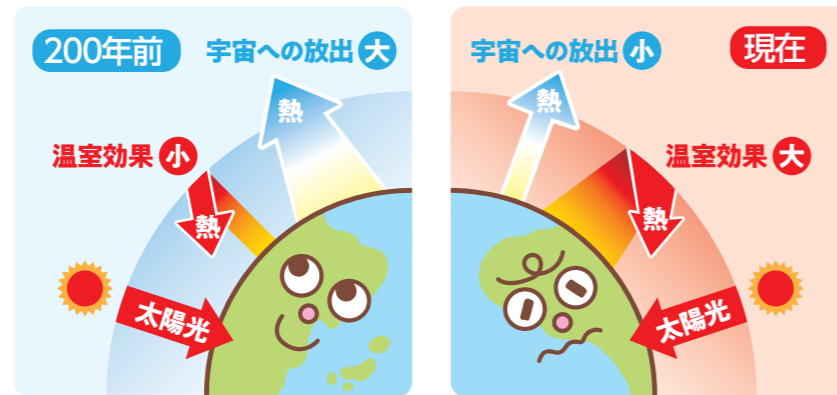
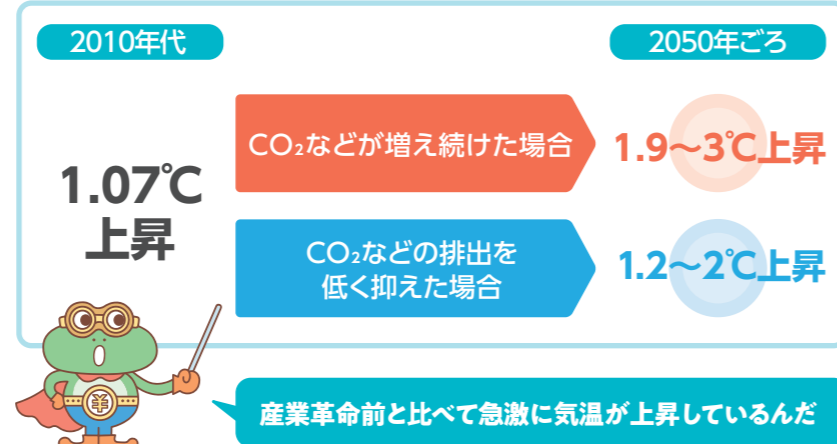
## 急激に上昇する地球の平均気温とその原因

産業革命前(1850~1900年)に比べ、2010年代(2010~2019年)は世界平均気温が1.07℃上昇しました。原因は経済活動に伴うCO<sub>2</sub>などの温室効果ガス<sup>※1</sup>の排出量増加です。豊かで便利な暮らしを求めた人間活動によって引き起こされたと言われてしています。

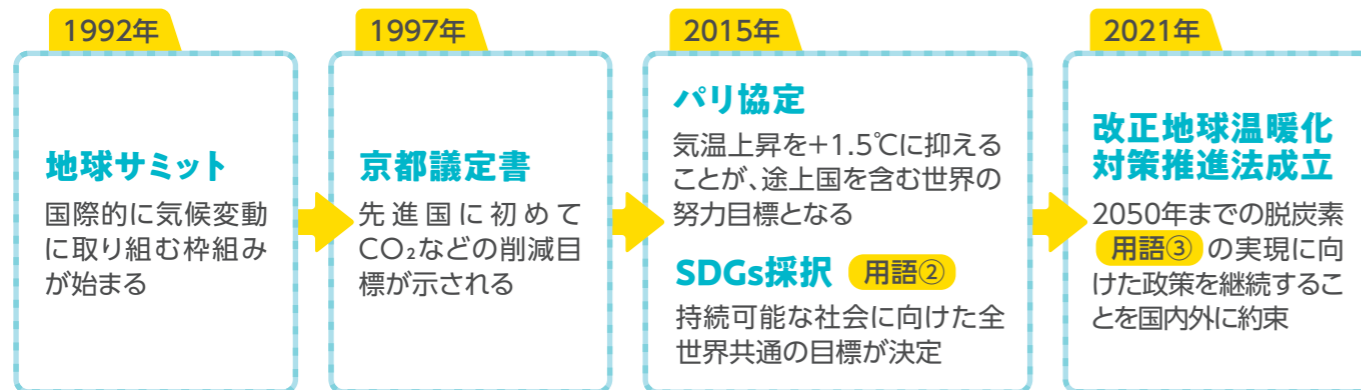
このままCO<sub>2</sub>などが増え続ければ、2050年ごろには世界の平均気温は1.9~3℃上昇すると予測されています。すでにこれまでの気温上昇により大型台風や猛暑日の増加、森林火災や局地的な水不足などが起きており、私たちの生活を脅かし始めています。

※ 各種データはIPCC(気候変動に関する政府間パネル)「第6次報告書」を参照  
 ※ いずれも産業革命前と比較した水準  
 ※1 大気中の熱を吸収する性質を持つガスを温室効果ガスと呼びます。二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)やメタン(CH<sub>4</sub>)、一酸化二窒素(N<sub>2</sub>O)、フロンガスなどがあります。温室効果ガスが増えると温室効果が高まり、宇宙への熱放出が抑えられるとともに、地表の温度が上昇します。

### 産業革命前と比較した世界平均気温の上昇幅



## 国際的に気候変動へ対応するルール作りが進む



気候変動への国際的な協議が始まったのは1992年の地球サミットからです。1997年の京都議定書では、先進国に初めてCO<sub>2</sub>などの排出量削減が義務付けられました。さらに2015年のパリ協定では、世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保つと

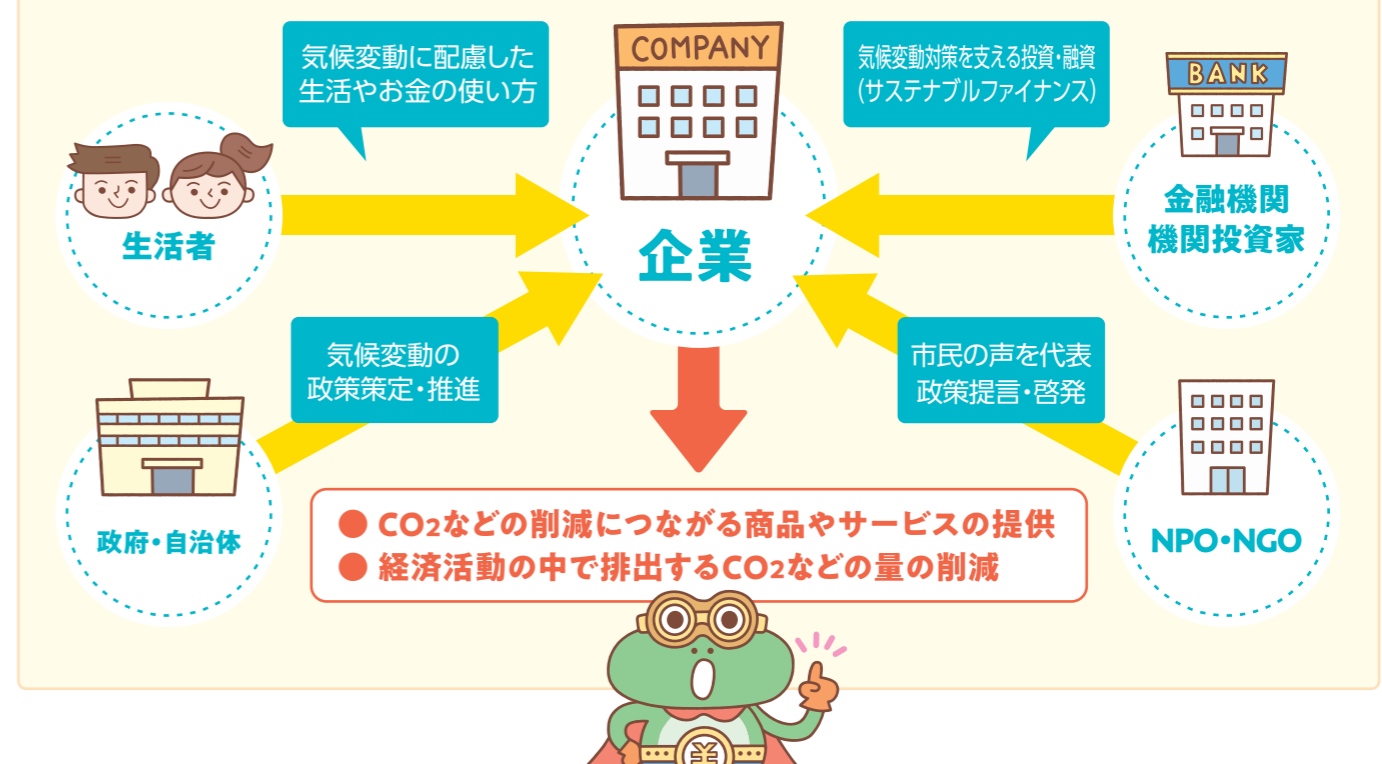
ともに、1.5℃に抑える努力を途上国を含む各国が追求する国際的な枠組みが定められました。こうした流れを受けて、日本は、CO<sub>2</sub>などの排出量を2030年までに少なくとも46%削減(2013年度比)、2050年までに実質ゼロにする目標を立てています。

## 気候変動対策に向けた社会全体の取り組み

CO<sub>2</sub>などの排出量を2050年までに実質ゼロとするには、産業革命以降続いた経済の仕組みを大きく方向転換し、グリーンな社会実現のため、今までにない技術やビジネスモデルなどの新しい発想を生み出すことが不可欠です。そのためには政府による取り組みだけでなく、企業による気候変動への取り組みや、私たち個人の行動を変えることが求められています。



### 企業を中心に見た気候変動に取り組む様々なステークホルダー



## 気候変動のリスクを抑えるには1人1人の行動を変えることが重要

電気を使う、自動車に乗る、石油由来のプラスチック製品を使う、食事を食べ残すなど、私たちは様々なシーンでCO<sub>2</sub>などを排出して生活しています。また私たちの買い物も、意図せずCO<sub>2</sub>などの排出増加につながっているケースも多々あります。だからこそ、私たちが気候変動に対する正しい知識を持ち、CO<sub>2</sub>などの排出削減につながる商品・サービスを選択する行動が欠かせません。

### 意図せず気候変動に影響を与えている例



※パーム油は植物油、ショートニング、界面活性剤などの名称で製品に表記されています。

### ポイント



正しい知識にもとづいた選択や行動があってこそ、気候変動リスクを抑えることができるんだ。



※IEA (International Energy Agency: 国際エネルギー機関) World Energy Outlook 2019

## ESG課題の解決を目指すサステナブルファイナンス

私たちが解決しなければならない社会の課題は、多岐にわたります。そこで、各企業・金融機関が同じ方向を向き、持続可能な社会を目指すために解決すべき課題を示したのがESG課題です。

ESG課題を解決するためのお金の流れを投資によって作ろうと始めたのが、責任投資原則(PRI) **用語④** です。2021年時点で、世界4,000以上の投資家や運用機関などが賛同しています\*。投資以外では、国内外の銀行がサステナブルな社会を生み出すための責任銀行原則(PRB) **用語⑤** も誕生しました。

このように、企業などの利益のみに注目してお金を貸したり(融資)、投資するのではなく、ESGの視点を考慮して融資・投資を行うことで、社会課題の解決を促す。その新しい金融の考え方や取組みが「サステナブルファイナンス」です。(融資・投資については「③サステナブルファイナンスの仕組みを知ろう」で解説)

※PRI ホームページ Signatory directoryより

### ● ESG課題

- E 環境問題 Environment** 気候変動、水不足、海洋プラスチック、排水や廃棄物など
- S 社会問題 Social** 労働環境や児童労働などの人権問題、人種や性の多様性など
- G ガバナンス Governance** 環境や社会問題に詳しい経営陣の配置、汚職の防止など



## “意志あるお金”で変わる企業

金融機関がESGの視点で融資や投資をすることで、企業にも変化が生まれています。一つの例が、ESG課題への取組みに関する企業側の情報発信の増加です。企業が自分たちの取組みを公開することで、他の企業と比べやすくなります。そして、他社より足りない点を強化してさらに良い企業活動が増える、といったサイクルにつながっています。また、私たちがESG課題に取り組む金融機関にお金を預けることで、金融機関自身の取組みにも変化が生まれ、気候変動問題の解決をさらに後押しすることができます。(詳しくは「③サステナブルファイナンスの仕組みを知ろう」で解説)

このように「気候変動を解決してほしい」という“意志のあるお金”を増やすことで、未来の生活を良い方向に変えよう、という輪が広がっています。



## 新しいビジネスアイデアで、サステナブルな社会へ

業種を問わず多くの企業が気候変動へのアクションを始めています。さらに銀行などの金融機関も、お金の面だけでなく、対話を通じてそのような企業を支援しています。(巻末資料参照) その一例をのぞいてみましょう。

### もったいない!を減らすビジネスの事例

現在は洋服を作るための原料を新たに調達して製造し、着終わった服はそのまま廃棄されています。国内の衣服の廃棄量は年間17億着\*ともいわれ、原料の調達から製造、廃棄のすべての行程で環境に負荷がかかっています。これに対して原材料の調達や製造の段

階から回収・資源の再利用を想定し、製品と原材料を捨てずに使い続ける経済モデルを「サーキュラーエコノミー(循環型経済)」と呼びます。サーキュラーエコノミーが普及すれば、新しく投入される資源量が減るため、CO<sub>2</sub>などの排出の削減にも大きく貢献できます。

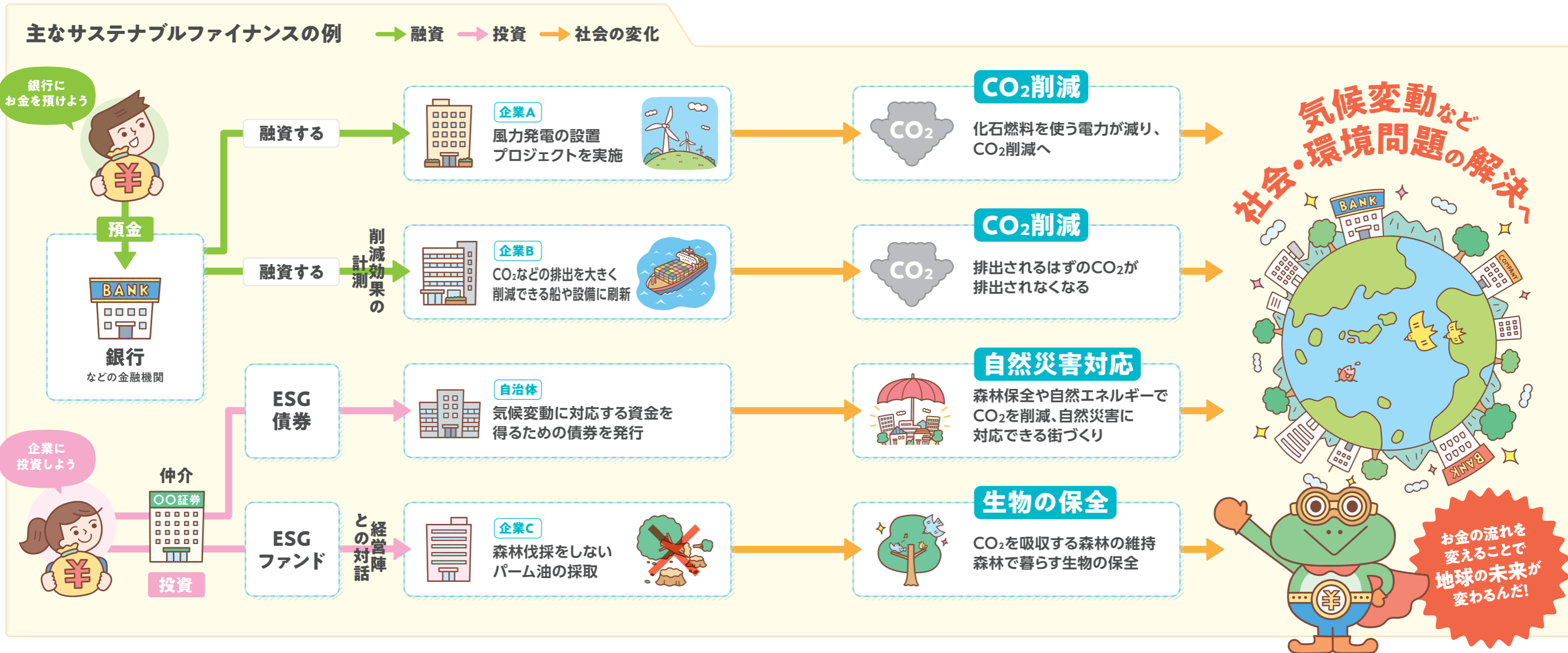


※環境省 令和2年度 ファッションと環境に関する調査業務-「ファッションと環境」調査結果

### ポイント

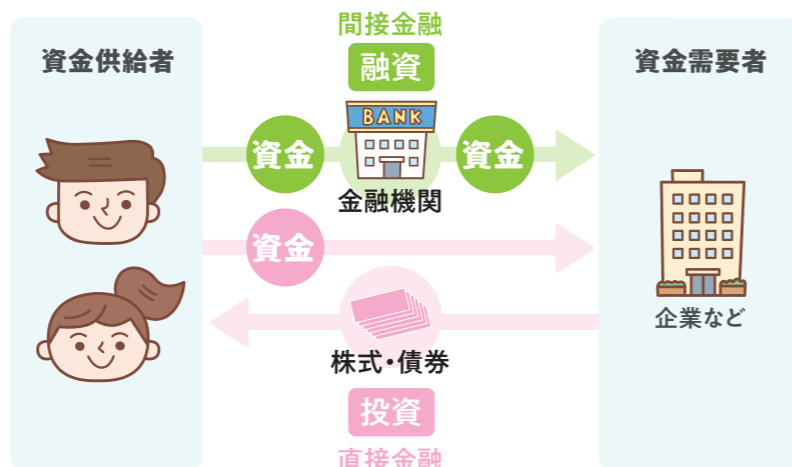
気候変動などの社会課題を解決できるビジネスを銀行などの金融機関が支援することは、経済全体の成長にもつながるんだ。

銀行などの金融機関や企業での取組みは遠い存在に思えるかもしれませんが、  
しかし、私たちのお金は銀行などを通して、  
気候変動など社会課題の対策にも活用されているのです。



## 私たちにも関係がある、融資・投資とは？

今使わないお金を、今使いたい人や企業に提供する手段が融資や投資です。基本的に、集めた預金を元手に、銀行が誰にお金を貸すかを決めて提供するのが融資、私たち自身でお金を使ってほしい先を決めて提供するのが投資です。投資の中にも、投資した企業のオーナー(持ち主)になれる株式と、ある期間まで企業などにお金を貸す債券があり、いずれも日々値段が変わります。実現したいビジネスを大きくするため、これらの手段を組み合わせると企業は資金を得ているのです。



## 融資や投資による私たちのメリットは？

融資や投資を通して資金を提供すると、事業が順調に進んでいけば、利息(融資)や配当(投資)という形で、提供したお金が大きくなって返ってきます。サステナブルファイナンスでは、いかに収益を上げられるかというお金のリターンだけでなく、環境や社会が良くなるというリターンも重要視しています。

**ポイント**  
普段の買い物や預金、投資などお金の使い方で世の中を良い方向に変えることができるんだ。

### ●具体的な取組み事例

#### ESGファンド (ESG投資信託)

環境問題や社会問題への取組みの評価が高い複数の企業に投資する金融商品。企業との対話を通して環境・社会問題への対応を強化するよう促す役割もあります。

#### サステナビリティ・リンク・ローン

企業が資金調達をする際に、CO<sub>2</sub>などの削減目標を掲げ、目標を達成できた場合は、金利が優遇される等の仕組みを有する金融商品です。

## サステナブルファイナンスに関するその他の例

### グリーン預金

個人や企業が預けたお金をもとに、銀行が風力発電事業やエネルギー効率化のための技術開発など、気候変動をはじめとする環境問題の解決に貢献するプロジェクトだけに融資を行う仕組みの預金です。



#### ポイント

今すぐ使わない資金を、環境問題の解決に貢献すると判断されたプロジェクトに活用してもらうことができます。

### 個人向け環境配慮型ローン

太陽光発電システムや省エネの設備を備えた住宅やCO<sub>2</sub>などの排出が少ないエコカーなど、金融機関の基準にあった住宅・車を購入する際、通常よりも低い金利で購入資金を借りられるローンです。



#### ポイント

金利を低くすることでCO<sub>2</sub>などの排出が少ない住宅や車の普及を促し、気候変動の抑制につながります。

### 融資・投資先企業との対話

銀行などの金融機関が融資・投資先の企業に対して、気候変動やプラスチック問題、持続可能な材料の調達など、ESG課題への対応を促すための対話(=エンゲージメントともいいます)を行い、改善を促します。金融機関には、企業成長とESG課題の解決を両立させる企業の好事例やノウハウが蓄積され、今後のエンゲージメントに活かされていきます。

#### ポイント

この知見を活かし、持続可能な社会に結び付く企業活動を増やすことにも貢献しています。

## 企業や金融機関のESG/SDGsへの取り組みを調べるには…?

### 企業のWebサイトから調べる

例えば、好きなブランドの製品が気候変動にどう関わっているのか、企業ウェブサイトを見ることで、これからも応援し続けたいかを考えてみることも行動の一つです。

その際は、「IR」や「サステナビリティレポート」で検索すると調べやすくなります。IR (Investor Relations) は、投資するかどうか決めるための投資家に向けた情報発信のことです。サステナビリティレポートは気候変動やESG課題への取り組みが写真付きで掲載されており、統合レポートやCSR (Corporate Social Responsibility) レポート、気候変動に特化したTCFD (気候変動関連財務情報開示タスクフォース (Task Force on Climate-related Financial Disclosures)) レポートなどの名称があります。



専門用語を  
わかりやすく解説するよ!



## ① IPCC (Intergovernmental Panel on Climate Change: 気候変動に関する政府間パネル)

IPCCは、各国政府の気候変動に関する政策に科学的な基礎を与えることを目的に設立された政府間組織。世界中の科学者の協力のもと、気候変動に関する最新の科学的知見の評価を定期的に提供しています。気候変動によって生じうる極端な気象発生、

私たちの社会、生態系への影響などを予測すると同時に、地球温暖化を1.5℃に抑制することは不可能ではないが、社会のあらゆる側面において前例のない移行が必要、とも指摘しています。

## ② SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)

2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標のことで、2015年9月の国連サミットで採択されました。17のゴールとこれらを具体的に示した169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓い、世界中の国々で取り組みが進んでいます。ゴール7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」では、経済的・地理的な問題で電力などのエネルギーにアクセスできない人も含め、多くの人々がクリーンなエネルギーを使えることを目指しています。ゴール13「気候変動に具体的な対策を」は、国レベルの対策だけでなく、教育を通して人々が気候変動の影響を抑制できる、影響に備えられるようにすることを目指しています。国内の企業や大学などのSDGsに対する取り組みは、外務省のJAPAN SDGs Action Platform (<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/index.html>) にまとめて掲載されています。



## ③ 脱炭素

地球温暖化の原因であるCO<sub>2</sub>を含む温室効果ガスの実質的な排出量をゼロにすること。「カーボンニュートラル」「ゼロカーボン」「ネットゼロ」とも呼ば

れます。日本は、2050年までに脱炭素社会になることを目指し、様々な取り組みが進んでいます。

## ④ PRI (Principles for Responsible Investment: 責任投資原則)

2006年、金融に環境・社会・ガバナンス (ESG) の視点を取り入れ、持続可能な発展を目指すことが必要、という国連の認識のもと公表されたのがPRIです。年金基金や財団、大学、資産運用会社など、大きな資金を投資・運用する機関投資家が署名しています。

PRI設立時にESGという概念が生まれ、ESGを考慮した投資のことをESG投資と呼ぶようになりました。従来から、環境・社会問題を引き起こす企業への投資を懸念する声はありましたが、PRIやESGの考えが生まれたことで、より多くの投資家が賛同しやすい土壌が整いました。

## ⑤ PRB (Principles for Responsible Banking: 責任銀行原則)

2019年、銀行の業務がパリ協定やSDGsで定められた将来の社会のビジョンに沿っていることを確認するための枠組みとして、PRBが発足しました。署名した銀行は、ESGに配慮した融資・投資を実施し、その進捗や結果を社会に開示することが定められています。

特徴的なのは、銀行の融資を通して生じた環境や社会へのインパクトの計測が求められている点です。単にESGの面で優れた企業やプロジェクトに融資するのではなく、大きな改善効果のあるお金の流れを生み出す動きが、PRBの発足によって広がっています。